

組合員各位

告示の通り、11月12日の執行委員会にて、2022 冬季一時金の要求額が決定致しましたので、会社に要求書を提出し団体交渉に入ります。

要求額決定の要因としては、

昨今、世界情勢の不安定による円安が続き、度重なる物価の値上げが組合員の生活に大きく影響している状況です。

交通事故違反については、2022 年度組合目標として“交通事故（有責）30 件以下、交通違反 20 件以下”を掲げて活動しております。2022 年度 11 月現在、交通事故（有責）14 件（前年同月 31 件）、交通違反 14 件（前年同月 22 件）となり、前年同月累積より交通事故違反は減少しております。要因として、組合の取り組み（毎月の重点注意事項）と、ドライブレコーダーの導入による、組合員の安全運転に対する意識向上が大きいと思われまます。労使協議事項である“携帯保持違反”が2 件発生しております。携帯保持違反撲滅が未だ達成できておらず、今後の課題となっています。組合として携帯保持違反撲滅のための取り組みをしていきます。また事故違反組合目標達成の為、12 月に無事故無違反のキャンペーンを開催致します。

商品事故においては、2022 年度上期（4-9 期）商品事故 30 件、弁済金額 1,904,505 円が発生しております。2021 年度下期（事故件数 50 件、弁済金 385,745 円）から、事故件数は減少していますが、弁済金が増加している状況で、商品に対しての取り扱いの意識、危機管理が未だ足りていない事が問題です。

新規事業につきましては、10 月 8 日の執行委員会にて勉強会を開き各支部の新規案件情報を共有致しました。医薬業に限らず広い目線で新規情報を拾い次につなげる為、まずはグリーンサービスが“何ができるか”から始め、各営業所の仕事内容を確認するとともに、新規外注の内容、獲得の過程を情報共有致しました。

チャレンジ 20 につきましては、ルートの見直し、出勤時間の調整など各営業所の取り組みを支部長より発表して頂き情報共有を致しました。

2022 年度上期（4-9 期）は売上実績 14 億 4 千 5 百万円（前年比 97%）販管費 14 億 9 千 9 百万円（前年比 104%）営業利益-5 千 4 百万円、中北薬品様売上 12 億 4 千 7 百万円グリーンサービスとして売上増を目指す外注売上では 2 億 2 千 6 百万円となり、売り上げの約 86%を中北薬品様から頂いており、中北薬品様への依存が高い状況です。物価の上昇は組合員の生活費の圧迫もありますが、会社としても燃料費高騰、高速料金の圧迫、などの影響により販管費が上がっております。今後の外注獲得が必須となっております。親会社である中北薬品様への依存度が高いことを皆様に常々お伝えしておりますが、今後中北薬品グループ会社として貢献していかなければなりません、下期も課題が山積しております。

上記の内容を踏まえた中で多岐に渡り協議した結果、組合としていま考えられる要求額、正社員組合員一人平均 180,000 円、契約社員組合員一人平均 149,000 円、パート組合員、活命茶 3 ケースの決定に至りました。

最後になりますが、現場からの一時金に対する意見も執行委員会において十分に協議をした上での要求額である事も訴えていきます。会社も厳しい環境下での経営ではありますが、組合員の生活向上を掲げ団体交渉に臨みます。要求に対し理解して頂けるように粘り強く交渉していきますので、組合員の皆様のご支援ご理解をお願い致します。

2022年 11月 16日
グリーンサービスユニオン
執行委員長 高梨 祐次

